



二十六聖人

令和4年 2月号

(令和4年1月30日発行)

教会だより

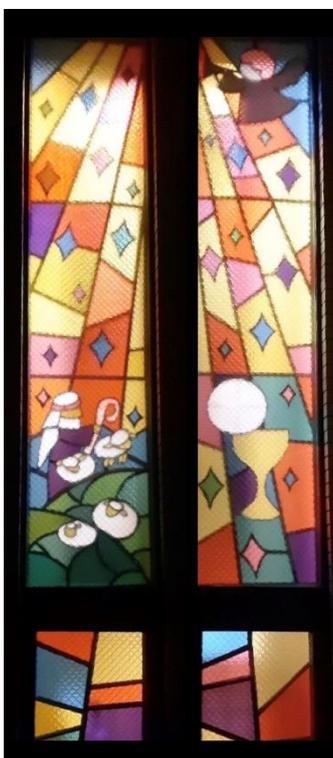
2022. 2 No. 344

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296
<http://www.futamatagawa-cc.com/>
主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

二十六聖人を偲びながら

韓国で最後に働いた小教区の守護の聖人は「海の星である天主の聖母マリア」です。聖マリアを守護の聖人としている小教区はすいぶんありますが、「海の星である天主のマリア」を守護の聖人としている小教区はあまりありません。しかし、その小教区は新設された小教区だったので、まずは守護の聖人を決めなければなりません。そこで、わたしは任命されてからずっと、どなたを守護の聖人とするか悩みこんでいました。そんなある日、わたしはその敷地でこれと思い、ついに「海の星である天主の聖母マリア」を守護の聖人として決めました。

実は、その小教区の敷地はまだ整えられていない丘でした。司祭館もなかったもので、近くのアパートを借り、そこから毎日教会に行き来していました。毎日教会の敷地に行くと、習慣的に先ずその丘に登ったりしました。その頂きから見える周りの風景は、まるで、海のように見えたのです。新たに出発する小教区、貧しくて小さな小教区、すべてを一から始めなければならない小教区。その新しい小教区の信者さんたちにどんな試練や苦しみが迫ってくるのか、わたしには分かりませんでした。そんな心配と悩みのうちのある日、わたしはその丘の頂きに立って、「海の星である天主の聖母マリア」を守護の聖人として決めたのです。「海の星である天主の聖母マリア、わたしたちのためにお祈りください。」と唱えながら。



洗礼を受けているわたしたちは、皆、それぞれの洗礼名を持っています。そのお名前は教会の聖人たちのお名前です。洗礼を受ける際にその聖人を自分の守護の聖人とするのです。でも、それはただ自分を守ってくれる霊的な力を表すだけではありません。守護の聖人はわたしたちの信仰の模範として授けられる神様からの賜物なのです。ですので、例えば、生活の中でいろいろな痛みや悩みがあったときだけではなく、信仰的な危機や疑いなどに陥ったときも、その聖人の助けを祈り求めるわけです。その祈りの中で、わたしたちは自分の守護の聖人の生き方や信仰の道を改めて学び、また、黙想しながら必要な力を神様から頂きます。

それと同じく、すべての小教区にも守護の聖人が授けられます。小教区の守護の聖人も、その信仰共同体を守り、助けてくださる方で、小教区は守護の聖人の取次ぎと保護に助けられ、また、成長していきます。個人の守護の聖人もそうですが、共同体の守護の聖人は、まるで、信仰の道の案内人のような方です。共同体が様々な問題や悩み、痛みや弱さに遭った時、或いは、世の中の世俗的な風潮に染まり、その誘惑のために揺らいでしまうような時、皆、守護の聖人の信仰と知恵と力を祈り求め、正しい道を見出さなければなりません。こうし

て、小教区の信者さんたちは、一生神様を信じ、イエス様に従った守護の聖人とともに信仰の道を歩み抜くことができるのです。そう考えたら、個人も同じですが、信仰共同体も自分の守護の聖人と親しくなるべきです。守護の聖人と親しくない個人や共同体は、完璧な人や共同体であるか、それとも、勝手に信仰の道を歩む者、この二つの中の一つであると言っても過言ではありません。

二俣川教会は日本の二十六聖人を、自分の守護の聖人として頂いています。毎年、2月5日になると、わたしたちは全世界の教会が記念する聖女アガタの代わりに、二十六聖人のことを記念しています。それほど、日本教会、特に、わたしたち二俣川教会において、二十六聖人は大事な聖人たちでしょう。それは言うまでもなく、わたしたちの教会の守護の聖人であるからです。それで、その日が平日だったら、近くの主日まで、祭壇の前に二十六本のろうそくを置いて、信者の皆さんが二十六聖人を記念するのです。それは当たり前だと思いますが、一方、その二十六聖人とわたしたちの共同体がどれほど親しい絆を築いているのかを考えてみます。建物に入って、ホールの中の壁に掛けてある大きな写真と説明のボードがなければ、この教会の守護の聖人はどなたかが分かりません。色々な団体や委員会があっても、その規約のどこにも、二十六聖人の話は書いてありません。二十六聖人について学ぶ機会もあまりないし、その霊性を学ぶための共同体としての投資もしていません。一人一人がそれぞれ、知恵や手段を尽くして、頑張っって色々な活動や奉仕をしていますが、それを守護の聖人と共にはしていないのではという気がします。しかも、一人でなく、二十六人もの方々が同じ殉教の道の一つの信仰と一つの心で歩まれたのに。それを考えながら、わたし自身も恥を隠せません。

普通、小教区の建物の外にはその教会の守護の聖人の聖像を設置します。わたしは韓国での最後の教会の守護の聖人を、「海の星である天主の聖母マリア」と決めましたが、その聖像は見たこともありませんでした。そこで、わたしはその守護の聖人の姿をスタンドグラスで製作し、教会の正面の大きなガラスに設置しました。勿論、資金の工面が大変でしたが、神様の助けと導きのおかげで、無事に必要な費用を得ることができました。今も、その「海の星である天主の聖母マリア」のスタンドグラスは、昼間には聖堂の中を輝かせ、夜には外の人たちにその光を放っているに違いありません。でも、ただ建物をもっと美しくするためのものだったら、それはあまり意味のないものでしょう。

去年のクリスマスの心暖かい思い出が頭に浮かびます。それは、中高生たちや青年たちと共に、聖堂の祭壇の左右のガラスをスタンドグラス風に飾ったことです。それをご覧になった多くの方々若者たちを誉めてくださり、とても嬉しかったです。そして、わたしたちの聖堂に「本物のスタンドグラス」を設置したいという声を掛けてくださいました。それが神様の意向でしたら、いつか必ず実現できると信じつつ、その日まで先ず、わたしたちの心と魂を二十六聖人の殉教精神で満たすことが大事だと思います。1597年の1月3日から2月5日までのその寒くて恐ろしい道は、二十六聖人の歩みによって、喜びと栄光で輝く道となったでしょう。聖人たちは皆、互いに励まし合い、助け合い、力づけ合い、愛し合いながら、その道を歩いたに違いありません。そして、十字架の上で声を合わせて祈り、神様への愛と人への愛を、イエス様のように証しされました。わたしたちの道も同じ道で、わたしたちの歩みも同じ歩みとならなければなりません。それこそが二十六聖人を守護の聖人としている、わたしたちの相応しい姿でしょう。きっと、その姿から天の真のスタンドグラスのような輝きが光ると思います。

栄光に満ちている二十六聖人、わたしたちのためにお祈りください。アーメン。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2022年1月教会委員会報告

【司祭】

今日は、イエス様の洗礼の祝日です。三位一体の神は互いに支え合う、認め合うという関係です。

司牧と言うのは、牧と言う仕事を司る事です。牧は自分の事ではなく、自分にこだわっている、司牧は出来ません。例えば百匹の羊を飼っている羊飼いの役割は、百匹の羊を全部世話する事です。これが司牧者です。横浜教区が掲げている「共同宣教司牧」を考えた時、百匹の羊たちに牧者がいたとしても、百匹の羊たちが互いに支え合い、認め合う事が必要です。一匹の羊が困難な時に、事情を知っている羊のみで支えるのではなく、残りの九十九匹の羊で一匹の羊を支える事が共同司牧の考え方です。教会委員会のメンバーとして、例えば少子化により教会学校の運営が難しくなった時、福祉委員会が困窮者を支える為の支援に問題が生じた時、問題解決は、その担当者だけが悩むのではなく、皆と一緒に考え一緒に支え合う事が共同宣教司牧の考えです。そうでなければ、自分の役割だけにこだわる可能性が高くなります。

横浜教区として、共同宣教司牧「まじわりとしての教会」を目指し、シノドスで全世界の教会も同じ事を目指していますから、二俣川教会のメンバーも、それに合わせて歩むべきだと思います。まずは互いに認め合い、支え合う教会でありたいと思います。

【今月の検討項目】

1. 信徒集会に関して

- ・信徒集会に関しては、コロナ感染症の状況を鑑みながら常任委員会にて検討致します。

2. シノドス（世界代表司教会議）の取り組み方

テーマ：「ともに歩む教会のため——交わり、参加、そして宣教」

- ・教区方針待ちの状態ですので、インターネット等を利用し基本知識習得をお願いします。

3. その他

◇地区活動について

- ・地区は教会の畑です。地区活動は地区の方たちが自分の活動であると認識を持つ事が大切です。地区活動活性化への教会からの支援に関しては、今後の課題として捉え検討を継続して参ります。

◇地区連絡室について

- ・地区連絡室は、教会委員会と地区が繋がるためにあります。地区連絡室のメンバーには教会副委員長が入る事になっており、地区世話人・教会委員会の相互の意見は教会副委員長を通じて連絡される事になっています。

【その他検討確認事項】

『事務所』

- ・ミサ後の清掃は、オルガン演奏が終了してから行動するようお願いします。

『各委員会報告』

(典礼委員会)

- ・聖歌隊練習を日曜日 10：10 から 10：40 まで聖堂で行います。
- ・侍者会は、毎月「教会学校と青年と共に捧げるミサ」の日の 13：00 から行います。
- ・2月2日（水）主の奉献（祝）10時のミサでローソクの祝別があります。
*この一年、各家庭で使われる新しいローソクをお持ち下さい。

(教会学校)

- ・1月30日（日）に「教会学校と青年と共に捧げるミサ」を行います。

(キリスト教講座)

- ・現在の活動は：「キリスト教入門講座」（木）（土）開講。
「聖書百週間」は感染予防のため中断中です。

(財務委員会)

- ・2021 年度決算報告書を作成中です。固定資産把握に時間を要する為協力お願いします。

(福祉委員会)

- ・年末福祉献金は、12月22日(水)に事務所から各団体に送金されました。
7 団体合計 62 万円です。

(建物管理委員会)

- ・2022 年計画：①聖堂の照明 LED 化 ②事務所印刷機リース更新 ③1 F ロビー絨毯の貼り替え ④聖堂床の貼り替え 教会財務状況を鑑みながら実施致します。
- ・馬小屋解体 1 月 16 日(日) 11 時 30 分後を予定(雨天順延)。

(共同墓地委員会)

- ・四教会合同委員会：3 月 20 日(日) 15:00 から、二俣川教会に於いて開催の予定。

(青年会)

- ・定例会開催日を変更します(第四日曜日)。「教会学校と青年と共に捧げるミサ」後、15:00 から 16:30 まで。
* オンライン参加可能です。
- ・新成人のお祝い 1 月 30 日(日)「教会学校と青年と共に捧げるミサ」の中で。
* 対象者は 2021 年・2022 年に成人となられた方です。

(インターファミリーグループ)

- ・2021 年 12 月 12 日(日) インターファミリーミーティングを実施致しました。
* 12 名参加で近況報告と新加入者の紹介 2 名を致しました。

(第三地区委員会)

- ・1 月 30 日(日) 第三地区共同宣教司牧委員会が戸部教会で開催されます。

(一粒会)

- ・2022 年の一粒会大会は 10 月 10 日(月:祝)に、神奈川第一地区担当で「カリタス女子中学校高等学校」で参加人数を絞る形で計画されています。

以上



マリア会通信 No. 113

【マリア会総会中止のお知らせ】

皆さまと集う事のできない毎日が続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。例年ですと、1 月末にマリア会総会を開催しておりましたが、今年も昨年同様コロナウイルス感染拡大防止の為開催することが難しい状況ですので、開催は中止させていただきます。役員は会則では 2 年任期ですが、今年度は留任とさせていただきます。マリア会への、皆さまからのご意見・ご希望を伺う為に、マリア会ポストを司祭執務室脇に設置いたします。用紙もご用意いたしますので、ご利用いただけましたら幸いです。投函いただきました、ご意見・ご希望は「マリア会通信」等でお応えさせていただくつもりであります。なかなか以前のような活動が出来ない状況ですが、ご自愛の上お過ごしください。今年もよろしく願いいたします。

マリア会 H. I.

【編集後記】

2022 年を無事に迎えることができました。心から感謝いたします。今月号の巻頭言で神父様を書いてくださっていますが、少なくとも広報委員会では、二俣川教会の大切な守護聖人である二十六聖人と共には教会活動をしてこなかったと反省しております。今年も、新たなオミクロン株に悩まされるかもしれませんが、二十六聖人が長崎西坂への道を歩まれたことを思い、その殉教の苦しみを偲びながら、神様への愛を証ししていきたいと思っております。(N. F. 記)